

# 令和 4年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	824 情報教育振興事業						担当部課	教育局総合教育研究所
予算科目	01-100102-14 情報教育振興に要する経費						担当部課 係名	
市長公約								
戦略プラン						新規・継続	継続	
						事業分類	自治事務（任意）	
						事業体制	職員のみ	
個別計画	特になし						事業期間	毎年度
根拠法令等	特になし						SDGs	04質の高い教育をみんなに

## 事業の概要

対象	小学校、中学校及び義務教育学校に勤務する教職員
目的	児童・生徒の情報活用能力の育成を図るとともに、本市全体の情報教育の水準向上を目指す。
概要 (取組内容)	各学校に勤務する教職員の中から学校ICT教育推進委員を45名選出し、定期的に研修会を開催する。総合教育研究所職員及び学校ICT教育推進委員が、文部科学省等が開催する外部研修会への参加を通じ、他自治体の状況等に関する見識を深めるとともに、本市からの外部発信も併せて実施する。

## コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	3,211	1,997	5,136	5,355	5,355	
	決算額	(千円)	1,093	4,221	4,177	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	1,093	4,221	4,177	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	3,832	3,776	3,555	1,853	1,853	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.50	0.50	0.50	0.25	0.25
		正職員時間外勤務	(時間)	175.53	147.66	61.09	61.00	61.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

## 指標の推移

1	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	著作物の利用について、各学校に著作物に関する資料配布及び定期的な利用報告を実施したことにより、知識及び理解の平準化を図った。1人1台端末の効果的な利用について、学校ICT教育推進委員会を中心に活用及び操作研修を行い、学校における普及を図った。	
成果	学校ICT教育推進委員会に対し、集合型及び配信型による定期研修を開催し、学校ICT教育の推進を図った。授業目的公衆送信補償金制度への登録・申請を通じて授業に必要な範囲での著作物の円滑な利用促進を図った。ICT実践事例集を作成し、配付する等、情報教育に関する知見を深め、その成果を教育現場に還元した。	
課題	業務	著作物の円滑な利用及び学習者用端末の活用について、学校間で利用格差が生じている。
	組織、予算等	J A E T 全国大会の開催打診があった令和6年度（2024年度）にプレ大会を行う予定のため、研修旅費の増額を希望する。
改善目標	著作物の円滑な利用及び学習者用端末の利用格差について、学校ICT教育推進委員の研修等を通じて利用の平準化を図っていく。	

#### 評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

#### 方向性

方向性	継続
理由	—

# 令和 4年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	825 小中学校プレゼンテーションコンテスト事業					
予算科目	01-100102-24 つくばスタイル科振興に要する経費			担当部課	教育局総合教育研究所	
市長公約				係名		
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs	04質の高い教育をみんなに	

## 事業の概要

対象	小学校、中学校及び義務教育学校に在籍する児童・生徒
目的	児童・生徒の発信力や表現力の向上を図るとともに、「つくば21世紀型能力」を広く周知する。
概要 (取組内容)	児童・生徒のつくばスタイル科での学習成果について、スタディノート及び電子黒板を使用したプレゼンテーションコンテストを開催する。校内審査を経て選出された学校代表作品の中から市長賞、教育長賞を選び、発表会を開催する。

## コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	344	328	439	423	423	
	決算額	(千円)	20	20	220	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	20	20	220	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,899	1,881	1,781	1,438	1,438	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.25	0.25	0.25	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	81.06	70.71	31.90	31.00	31.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

## 指標の推移

1	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	
成果	プレゼンテーションコンテストを開催し、児童・生徒のICT活用能力、表現力及び発信力等の向上を図った。受賞作品をつくばプレコンWeb内で紹介することで、児童・生徒の学習成果を広く周知した。
課題	業務
	組織、予算等
改善目標	

#### 評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

#### 方向性

方向性	継続
理由	—

# 令和 4年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	826 ICT機器・ネットワーク・ホームページの維持管理事業					
予算科目	01-100102-14 情報教育振興に要する経費			担当部課	教育局総合教育研究所	
市長公約				係名		
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs	04質の高い教育をみんなに	

## 事業の概要

対象	小学校、中学校及び義務教育学校に勤務する教職員
目的	学校現場におけるICT機器の利活用環境を維持し、業務の効率化を図る。
概要 (取組内容)	総合教育研究所及び学び推進課の公式ウェブサイト、つくば市教育用ポータルサイトの維持管理を行う。 学校現場で運用されるネットワーク機器、コンピュータ端末等に関するヘルプデスク機能を担う。

## コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	968	818	1,004	921	921	
	決算額	(千円)	1,079	441	623	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	1,079	441	623	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,312	2,271	4,193	2,286	2,286	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.30	0.30	0.60	0.32	0.32
		正職員時間外勤務	(時間)	110.59	90.88	43.45	43.00	43.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

## 市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

## 指標の推移

1	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	継続的な予算要求の結果、報酬及び人員の増につながった。	
成果	学校現場における情報端末及び通信トラブル等の技術支援について、学校ICT指導員等が迅速に支援を実施した。総合教育研究所及び学び推進課の公式ウェブサイト、教育用ポータルサイトの維持管理を行った。学校現場におけるICT機器・アプリケーションの設定作業等をサポートするICT支援員8名（前年度から2名の増）を採用した（会計年度任用職員としての採用のため、報酬等は人事課計上）。	
課題	業務	Webサイトの管理運営におけるシステムの構築及び人員体制、WEBサイト閉鎖に伴う情報発信及び再開に向けたスケジュールの見直し等の検討
	組織、予算等	学校現場において迅速かつ効率的な支援を実施していくために、ICT支援員の任用に関する予算確保及び効果的な支援体制の構築が求められる。教育局HPの閉鎖に伴い、より安全性を確保したHPを再構築するために予算を確保する。
改善目標	ICT支援員の任用に関する予算の確保について、継続的に要求していく。学校現場への効果的な支援体制の構築について、定期的な巡回訪問を実施していく。Webサイトの管理運営のための予算確保及び人員体制を図り、令和5年度（2023年度）中にWebサイトを構築する。	

### 評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

### 方向性

方向性	拡大・拡充	
理由	小中学校、義務教育学校及び令和5年度（2023年度）以降の新設小中学校等に対し、迅速かつ効率的な支援を実施するため、ICT支援員の増員が見込まれる（報酬等は人事課計上）。	

# 令和 4年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	827 SDGsシールコンテスト事業					
予算科目	01-100102-14 情報教育振興に要する経費			担当部課	教育局総合教育研究所	
市長公約				係名		
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs	04質の高い教育をみんなに	
					06安全な水とトイレを世界中に	
					07エネルギーをみんなにそしてクリー	

## 事業の概要

対象	小学校、中学校及び義務教育学校に在籍する児童・生徒
目的	SDGs の理念を児童・生徒、保護者、地域等に向けて周知していく。
概要 (取組内容)	児童・生徒がSDGsの17の視点をテーマに作成したシールデザイン作品及びアニメーション作品のコンテストを開催し、優れた作品の表彰及び学校内外で掲示する。

## コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	248	85	80	72	72	
	決算額	(千円)	65	25	77	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	65	25	77	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,932	1,896	1,775	1,433	1,433	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.25	0.25	0.25	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	94.47	76.96	29.19	29.00	29.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

## 指標の推移

1	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	
成果	児童・生徒がSDGsの17の視点をテーマに、学習者用端末を活用し、意識啓発のために作成したシール作品及びアニメーション作品について、コンテストを開催した。受賞作品について、当所が開設している「つくばキッズ」ウェブサイトで公開したことで、SDGsの理念を広く周知した。
課題	業務
	組織、予算等
改善目標	

#### 評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

#### 方向性

方向性	継続
理由	—

# 令和 4年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	828 つくばスタイル科の振興事業					
予算科目	01-100102-24 つくばスタイル科振興に要する経費			担当部課	教育局総合教育研究所	
市長公約				係名		
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs	04質の高い教育をみんなに	
					06安全な水とトイレを世界中に	
					07エネルギーをみんなにそしてクリー	

## 事業の概要

対象	小学校、中学校及び義務教育学校に在籍する児童・生徒及び教職員
目的	各学園において本市独自の教科である「つくばスタイル科」の取組が円滑なものとなるよう支援する。
概要 (取組内容)	各学校に勤務する教職員をメンバーとする「つくばスタイル科ワーキンググループ」を編成し、単元プランの作成・見直しを実施する。

## コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	1,666	1,149	973	981	981	
	決算額	(千円)	577	743	321	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	577	743	321	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,455	1,512	1,487	1,485	1,485	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	38.36	59.50	50.98	50.00	50.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

## 指標の推移

1	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	
成果	つくばスタイル科ワーキンググループ研修会を開催し、つくばスタイル科の方向性及び単元プラン集の見直しを図った。つくばスタイル科の実践事例集等を通じて、つくばスタイル科の円滑な取り組みへの支援を実施した。
課題	業務
	組織、予算等
改善目標	

#### 評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

#### 方向性

方向性	継続
理由	—

# 令和 4年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	829 教員のICT活用指導力向上研修事業					
予算科目	01-100102-26 総合教育研究所に要する経費			担当部課	教育局総合教育研究所	
市長公約				係名		
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs	04質の高い教育をみんなに	

## 事業の概要

対象	小学校、中学校及び義務教育学校に勤務する教職員
目的	I C T機器を活用した授業力や実践力の向上を図る。
概要 (取組内容)	各学校から選任された I C T担当の教職員を対象に、I C T機器の効果的な活用のための悉皆研修を設定し、実施する。各学校からの要請に応じ、情報担当指導主事及び学校 I C T指導員の訪問による研修を実施する。併せて、研修に必要な I C T機器を整備する。

## コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	2,204	1,214	225	225	225	
	決算額	(千円)	2,204	1,214	225	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	2,204	1,214	225	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,683	2,649	4,575	1,509	1,509	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.35	0.35	0.65	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	123.34	105.68	60.47	60.00	60.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

## 指標の推移

1	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	
成果	各学校のICT担当の教職員を対象に、ICT機器の効果的な活用のための悉皆研修及び情報担当指導主事及びICT指導員による訪問研修を実施したことで、教職員のICT機器を活用した授業力や実践の向上を図った。
課題	業務
	組織、予算等
改善目標	

#### 評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

#### 方向性

方向性	継続
理由	—

# 令和 4年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	830 教職員研修補助事業					
予算科目	01-100102-26 総合教育研究所に要する経費			担当部課	教育局総合教育研究所	
市長公約				係名		
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs	04質の高い教育をみんなに	

## 事業の概要

対象	小学校、中学校及び義務教育学校に勤務する教職員
目的	教職員の資質向上及び専門的知識を養う。
概要 (取組内容)	教職員が職務に関連する専門的知識を養うことを目的として開催される研修会への参加に必要な経費（受講料や参加費、図書等購入費）について、予算の範囲内で補助金として支援する。

## コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	3,000	2,450	887	868	868	
	決算額	(千円)	2,990	485	552	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	2,990	485	552	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,424	1,513	1,445	1,443	1,443	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	25.72	59.80	33.87	33.00	33.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

## 指標の推移

1	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	補助金の申請から請求までの流れや教職員からの問い合わせに対応するため、それらを網羅した手引き書を作成・配布し、補助金の積極的な活用を図った。
成果	職務命令によらない外部研修会（オンライン型研修等も含む）への参加に要する経費を補助金として支援したことで、教職員の専門的知識の向上を図り、研修等で習得した知識及び技能を授業等に還元できた。
課題	業務 補助金の活用について、各学校間で利用格差が生じている。 組織、予算等 —
改善目標	補助金の積極的な活用を図るため、補助金の制度概要や手引き等について、定期的な周知等を実施し、補助金の活用の平準化を図っていく。

#### 評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

#### 方向性

方向性	継続
理由	—

# 令和 4年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	831 教職員研修事業					
予算科目	01-100102-26 総合教育研究所に要する経費			担当部課	教育局総合教育研究所	
市長公約				係名		
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs	04質の高い教育をみんなに	

## 事業の概要

対象	小学校、中学校及び義務教育学校に勤務する教職員
目的	教職員として求められる資質・能力、授業力、実践力等の向上を図る。
概要 (取組内容)	各学校に勤務する教職員に対し、学級経営等に関する悉皆研修及び特別研修講座等を実施する。

## コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	1,341	788	777	134	134	
	決算額	(千円)	131	1,289	390	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	131	1,289	390	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	372	378	383	110	110	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.05	0.05	0.05	0.01	0.01
		正職員時間外勤務	(時間)	12.75	14.80	17.03	17.00	17.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

## 指標の推移

1	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	
成果	各学校に勤務する教職員に対し、学級経営に関する悉皆研修及び特別研修（I S A K研修）の開催を通じて、求められる資質、能力、実践力の向上を図った。
課題	業務
	組織、予算等
改善目標	

#### 評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

#### 方向性

方向性	継続
理由	—

# 令和 4年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	832 教育に関する調査・研究事業					
予算科目	01-100102-26 総合教育研究所に要する経費			担当部課	教育局総合教育研究所	
市長公約				係名		
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs	04質の高い教育をみんなに	

## 事業の概要

対象	小学校、中学校及び義務教育学校に在籍する児童・生徒、教職員
目的	児童・生徒の学力、意識等の変容を捉えるとともに、本市の教育による児童・生徒、教職員の変容等を明らかにする。
概要 (取組内容)	アンケートや各種調査を行い、児童・生徒の学力や意識等の変容を捉える。 各学園での教育実践の取組や教職員、児童・生徒の意識について、その変容を調査する。 調査によって明らかとなった本市の教育の成果等を、広報誌やホームページ等を通じて、保護者や地域、全国に向けて発信する。

## コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	396	149	280	189	189	
	決算額	(千円)	249	130	307	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	249	130	307	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	75	77	77	76	76	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
		正職員時間外勤務	(時間)	2.55	2.96	3.41	3.00	3.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

## 指標の推移

1	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	
成果	アンケート及び各種調査を通して、児童・生徒の学力及び意識等の変容を捉え、各学校での教育実践の取り組み、教職員及び児童・生徒へのフィードバックを行い、学習に対する意識の向上を図った。
課題	業務
	組織、予算等
改善目標	

#### 評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

#### 方向性

方向性	継続
理由	—

# 令和 4年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	833 小中一貫教育推進体制の整備事業					
予算科目	01-100102-26 総合教育研究所に要する経費			担当部課	教育局総合教育研究所	
市長公約				係名		
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs	04質の高い教育をみんなに	

## 事業の概要

対象	小学校、中学校及び義務教育学校に勤務する教職員
目的	本市の小中一貫教育の理念を教職員に周知し、理解を深める。
概要 (取組内容)	教職員研修を通じて、小中一貫教育への理念の平準化を図る。小中一貫教育全国サミットに参加し、見識を広げるとともに本市の研究発表会に反映していく。

## コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	320	191	336	138	138	
	決算額	(千円)	0	30	231	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	30	231	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	75	77	77	76	76	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
		正職員時間外勤務	(時間)	2.55	2.96	3.41	3.00	3.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

## 指標の推移

1	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	
成果	小中一貫教育全国サミットを参観したことで、本市の小中一貫教育のあるべき姿を改めて認識することができた。計画指導訪問等の学校訪問時に、教職員に対する小中一貫教育の周知を図った。
課題	業務
	組織、予算等
改善目標	

#### 評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

#### 方向性

方向性	継続
理由	視察地の変更に伴い事業費が減少したが、事業内容は継続である。

# 令和 4年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	834 つくば市総合教育研究所維持管理事業					
予算科目	01-100102-26 総合教育研究所に要する経費			担当部課	教育局総合教育研究所	
市長公約				係名		
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs	04質の高い教育をみんなに	

## 事業の概要

対象	総合教育研究所所属職員及び利用者
目的	研修会場及び学校現場のICT機器に関する諸業務を所管する部署としての総合教育研究所の維持管理
概要 (取組内容)	施設の修繕及び維持管理に関する各種業務の委託契約（電気保安全管理、消防設備点検、施設警備、施設内清掃、植栽維持管理、貯水槽清掃等）、総合教育研究所内で使用する情報機器の購入・賃借等に関する契約の締結他

## コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	9,584	7,714	8,675	9,300	9,300	
	決算額	(千円)	8,738	6,122	7,990	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	8,738	6,122	7,990	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	3,558	3,781	3,612	3,611	3,611	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
		正職員時間外勤務	(時間)	64.29	149.50	84.67	84.00	84.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

## 市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

## 指標の推移

1	指標名	( % )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	
成果	研修会場や学校現場のICT機器に関する諸業務を所管する部署として、施設修繕及び維持管理に必要な各種業務の委託契約を締結し、安全で使いやすい施設環境を維持した。情報機器の貸借等に関する契約を締結し、効率的な事務執行を図った。
課題	業務
	組織、予算等
改善目標	

#### 評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

#### 方向性

方向性	継続
理由	近年の電気料金の高騰により、事業費は増加しているが、事業内容は継続である。

# 令和 4年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	835 小学校事務用パソコン整備事業					
予算科目	01-100201-17 情報機器整備に要する経費			担当部課	教育局総合教育研究所	
市長公約				係名		
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	つくば市教育振興基本計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	学校教育の情報化の推進に関する法律			SDGs	04質の高い教育をみんなに	

## 事業の概要

対象	小学校及び義務教育学校（前期課程）に勤務する教職員
目的	情報機器の整備を通じて教職員の事務の効率化及び軽量化を図るとともに、校務の情報化を推進する。
概要 (取組内容)	校務用コンピュータ、センターサーバ、複合機、印刷機、校務支援システム等の整備・運用

## コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	65,954	76,134	79,137	88,005	93,053	
	決算額	(千円)	58,952	73,365	74,045	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	58,952	73,365	74,045	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	3,147	3,085	2,998	3,064	3,064	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.42	0.42	0.42	0.43	0.43
		正職員時間外勤務	(時間)	118.31	88.21	55.98	55.00	55.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

## 指標の推移

1	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	校務用コンピュータ端末の追加整備を行った。 教職員からの要望等により校務支援システムの機能追加及び改修を行った。	
成果	校務用コンピュータ、校務支援システム等の情報機器の整備により、教職員の事務の効率化、軽量化を図ることができた。	
課題	業務	—
	組織、予算等	今後、当面は児童数の増加による教職員の継続的な増加が見込まれる。教職員が円滑に校務を遂行できるよう、校務用コンピュータ端末を十分に配備、活用できる水準の予算確保が必要である。
改善目標	教職員数の増加に対応した校務用コンピュータ端末の拡充及び校務支援システムの機能改善等を行い、更なる業務の効率化に取り組んでいく。	

#### 評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

#### 方向性

方向性	拡大・拡充	
理由	学校現場における校務負担の軽減及び校務の情報化に関する需要は極めて高く、今後も情報機器の整備を通じて更なる推進を図る必要があるため。	

# 令和 4年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	836 中学校事務用パソコン整備事業					
予算科目	01-100301-17 情報機器整備に要する経費			担当部課	教育局総合教育研究所	
市長公約				係名		
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	つくば市教育振興基本計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	学校教育の情報化の推進に関する法律			SDGs	04質の高い教育をみんなに	

## 事業の概要

対象	中学校及び義務教育学校（後期課程）に勤務する教職員					
目的	情報機器の整備を通じて教職員の事務の効率化及び軽量化を図るとともに、校務の情報化を推進する。					
概要 (取組内容)	校務用コンピュータ、センターサーバ、複合機、印刷機、校務支援システム等の整備・運用					

## コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	31,266	35,572	38,578	43,861	48,588	
	決算額	(千円)	26,880	33,211	34,971	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	26,880	33,211	34,971	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	3,147	3,085	2,998	3,064	3,064	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.42	0.42	0.42	0.43	0.43
		正職員時間外勤務	(時間)	118.31	88.21	55.98	55.00	55.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

## 指標の推移

1	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	校務用コンピュータ端末の追加整備を行った。 教職員からの要望等により校務支援システムの機能追加及び改修を行った。	
成果	校務用コンピュータ、校務支援システム等の情報機器の整備により、教職員の事務の効率化、軽量化を図ることができた。	
課題	業務	—
	組織、予算等	今後、当面は生徒数の増加による教職員の継続的な増加が見込まれる。教職員が円滑に校務を遂行できるよう、校務用コンピュータ端末を十分に配備、活用できる水準の予算確保が必要である。
改善目標	教職員数の増加に対応した校務用コンピュータ端末の拡充及び校務支援システムの機能改善等を行い、更なる業務の効率化に取り組んでいく。	

#### 評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

#### 方向性

方向性	拡大・拡充	
理由	学校現場における校務負担の軽減及び校務の情報化に関する需要は極めて高く、今後も情報機器の整備を通じて更なる推進を図る必要があるため。	

# 令和 4年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	839 幼稚園事務用情報機器整備事業					
予算科目	01-100401-18 情報機器整備に要する経費			担当部課	教育局総合教育研究所	
市長公約				係名		
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	つくば市教育振興基本計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs	04質の高い教育をみんなに	

## 事業の概要

対象	幼稚園に勤務する教職員
目的	情報機器の整備を通じて園務の効率化及び軽量化を推進する。
概要 (取組内容)	複合機及び印刷機の整備

## コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	3,298	2,676	2,711	4,550	4,573	
	決算額	(千円)	2,162	2,332	2,152	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	2,162	2,332	2,152	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	732	707	721	721	721	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
		正職員時間外勤務	(時間)	21.03	9.30	16.38	16.00	16.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

## 指標の推移

1	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	—	
成果	複合機及び印刷機の整備により、教職員の園務負担を軽減した。	
課題	業務	業務の効率化やコロナ禍により、オンライン会議等の開催が増加している。しかし、公立幼稚園では、オンライン会議等の利用環境が整備されていないため、利用環境を有する市の施設に移動し対応している状況にある。
	組織、予算等	—
改善目標	オンライン会議等の本来の目的である経費節減や業務の効率化を図るため、ICT環境の改善を図る。	

#### 評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

#### 方向性

方向性	拡大・拡充	
理由	園務負担の軽減に更なる情報機器の整備が必要となるため。	

# 令和 4年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	837 小学校ICT教育推進事業					
予算科目	01-100202-17 ICT教育推進に要する経費			担当部課	教育局総合教育研究所	
市長公約	36			係名		
戦略プラン	Ⅲ-2	1	3	科学教育の推進と批判的思考の育成	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	職員のみ
個別計画	つくば市教育振興基本計画				事業期間	毎年度
根拠法令等	学校教育の情報化の推進に関する法律				SDGs	04質の高い教育をみんなに

## 事業の概要

対象	小学校及び義務教育学校（前期課程）に在籍する児童
目的	ICT機器を活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現し、子供たちがこれからのグローバル社会で活躍するために必要な「つくば21世紀型能力」や「情報活用能力」を育む
概要 (取組内容)	小学校及び義務教育学校（前期課程）における教育用コンピュータ、電子黒板、学習支援システム等の整備

## コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	122,620	360,613	334,862	344,838	349,041	
	決算額	(千円)	563,702	346,853	325,349	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	130,464	144,911	104,561	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	433,238	201,942	215,788	0	0
		その他	(千円)	0	0	5,000	0	0
人件費	人件費計	(千円)	5,367	5,338	5,136	5,134	5,134	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.72	0.72	0.72	0.72	0.72
		正職員時間外勤務	(時間)	191.63	171.88	94.62	94.00	94.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	有	有	有	有

## 市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

## 指標の推移

1	指標名	教育用コンピュータ1台あたりの児童数 (人)					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	5.5	5.0	1.0	1.0	1.0	1.0
	実績	8.2	1.0	1.0	1.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	学校におけるICT機器の運用を効率的に行えるようにするため、ICT支援員を前年度より2名追加し8名配置した。(予算は、総務部人事課主管の別事業で計上)
成果	児童数の増加に伴い、児童1人当たり1台の学習者用端末及び電子黒板の追加整備を行った。ICT支援員を各学校に派遣し、機器設定、研修支援及び授業支援を行った。(小学校及び義務教育学校前期課程延べ706人)
課題	<p>業務</p> <p>—</p> <p>組織、予算等</p> <p>今後、児童数が増加していく中で学校現場のICT機器活用を十分にサポートするためには、学習者用端末、電子黒板等の調達に必要な予算の確保に加え、専門的な知見を有する常勤等職員や会計年度任用職員(ICT支援員)の継続的な配置が必要不可欠である。</p>
改善目標	人的資源(学校ICT指導員、ICT支援員)の任用に関する予算の確保を継続して要求していく。学校現場において児童・生徒間の公平性が十分に担保された機器調達が可能な予算の確保を図る。

#### 評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

#### 方向性

方向性	拡大・拡充
理由	児童数の増加に伴うICT機器等の調達に関する事業規模の拡大が不可避である。また、これらを円滑に運用するために必要なネットワーク環境のランニングコスト等の増加が見込まれるため。

# 令和 4年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	838 中学校ICT教育推進事業					
予算科目	01-100302-17 ICT教育推進に要する経費			担当部課	教育局総合教育研究所	
市長公約	36			係名		
戦略プラン	Ⅲ-2	1	3	科学教育の推進と批判的思考の育成	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	職員のみ
個別計画	つくば市教育振興基本計画				事業期間	毎年度
根拠法令等	学校教育の情報化の推進に関する法律				SDGs	04質の高い教育をみんなに

## 事業の概要

対象	中学校及び義務教育学校（後期課程）に在籍する生徒
目的	ICT機器を活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現し、子供たちがこれからのグローバル社会で活躍するために必要な「つくば21世紀型能力」や「情報活用能力」を育む
概要 (取組内容)	中学校及び義務教育学校（後期課程）における教育用コンピュータ、電子黒板、学習支援システム等の整備

## コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	74,433	154,826	173,063	172,598	174,563	
	決算額	(千円)	316,866	149,112	166,461	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	77,013	86,932	65,977	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	239,853	62,180	97,084	0	0
		その他	(千円)	0	0	3,400	0	0
人件費	人件費計	(千円)	4,635	4,628	4,415	5,095	5,095	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.62	0.62	0.62	0.72	0.72
		正職員時間外勤務	(時間)	170.60	160.73	78.23	78.00	78.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	有	有	有	有

## 市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

## 指標の推移

1	指標名	教育用コンピュータ1台あたりの生徒数 (人)					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	5.5	5.0	1.0	1.0	1.0	1.0
	実績	8.2	1.0	1.0	1.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	学校におけるICT機器の運用を効率的に行えるようにするため、ICT支援員を前年度より2名追加し8名配置した。(予算は、総務部人事課主管の別事業で計上)
成果	生徒数の増加に伴い、生徒1人当たり1台の学習者用端末及び電子黒板の整備を行った。ICT支援員を各学校に派遣し、機器設定、研修支援及び授業支援を行った。(中学校及び義務教育学校後期課程延べ249人)
課題	<p>業務</p> <p>—</p> <p>組織、予算等</p> <p>今後、生徒数が増加していく中で学校現場のICT機器活用を十分にサポートするためには、学習者用端末、電子黒板等の調達に必要な予算の確保に加え、専門的な知見を有する常勤等職員や会計年度任用職員(ICT支援員)の継続的な配置が必要不可欠である。</p>
改善目標	人的資源(学校ICT指導員、ICT支援員)の任用に関する予算の確保を継続して要求していく。学校現場において児童・生徒間の公平性が十分に担保された機器調達が可能な予算の確保を図る。

#### 評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

#### 方向性

方向性	継続
理由	—